

藤枝市立青島東小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年6月17日(木)

見て、触れて、弥生時代の人々の知恵や苦労を実感しました。



授業で扱った教材を実際に見たり触れたりすることで弥生時代の人々の知恵や苦労を実感して学ぶことを目的として、学校周辺の遺跡（発掘調査）の話・土器の分類体験・石器の試し切り体験・火起こし体験の4つの体験を行いました。短い時間の中で、盛りだくさんの体験をしましたが、どの体験も夢中になって取り組む姿が見られました。

◎発掘調査の話

埋蔵文化財センターが行なった発掘調査の中から、青島東小学校周辺の遺跡の話画像を見ながら興味深く聞くことができ、歴史がより身近に感じたようです。



◎石器の試し切り体験



打製石器や磨製石器、黒曜石の話聞いた後、持参した野菜くずを黒曜石で試し切りしました。ニンジンやダイコン、ピーマンなどいろいろな野菜を切り、堅い物も切れることを実感しました。

◎火起こし体験

デモンストレーションの時、興味を持って見聞きしていました。次に、自分たちが弾み車を回す段階になると、なかなかリズムよく回すことができず、回転力が落ちてくると二人で協力して弾み車を回していました。しばらく頑張っていると火種ができ、火種を火口にのせ、しばらく息を吹きかけると火が起きました。



◎土器の分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器の違いについての話を聞いた後、実際に出土した完成土器を手に取り、重さや質感、模様などをよく観察し、土器片と比べながら分類していました。微かな土器の違いを話し合いながら分類することで人類の歴史を感じ取っていました。

